

LIVE
視聴配信

リグロス®の秘訣に迫る!

Doctorbook会員限定プラチナセミナー



リグロス®発売から3年が経ち、今後一層の展開が見込まれます。今回は佐藤秀一先生、村田雅史先生のお二方をお招きしてLIVE配信(生放送)のセミナーを開催いたします。リグロス®の基本的な話に留まらず、日常の臨床で活かせる一步踏み込んだ内容もお届けいたします。お見逃しなく!

- ✓ 日常の臨床に活かせるポイントを紹介!
- ✓ セミナーLIVE中のQ&A! 質問受付!

プログラム

【第1部】

『日常臨床でリグロス®を用いて行う
歯周組織再生治療の可能性』

座長：日本大学歯学部歯科保存学第Ⅲ講座
教授 佐藤 秀一 先生



佐藤 秀一 先生

日本歯周病学会専門医(指導医)
日本歯科保存学会専門医(指導医)
日本歯周病学会理事
日本歯科保存学会理事

【第2部】

『リグロス®による歯周組織再生治療の実際』

演者：村田歯科医院(新潟市)
院長 村田 雅史 先生



村田 雅史 先生

日本顎咬合学会 常任理事
日本歯周病学会 歯周病専門医・評議員
明倫短期大学臨床教授
新潟大学歯学部非常勤講師

LIVE配信日程

日程

2020/2/1(土) 19:30~20:45



参加費

無料 (Doctorbook会員限定)

<https://academy.doctorbook.jp>

受講方法

裏面をご覧ください

ドクターブックアカデミー

🔍 検索



セミナー視聴に際しての手順とお願い

会員登録いただかないと、今回のリグロスWEBセミナーにはご参加いただけませんのでご了承ください。



Doctorbook academy (ドクターブックアカデミー)

右のQRコードを読み取るか、検索サイトで「ドクターブックアカデミー」と検索していただき会員登録をお願いいたします。



セミナーお申込方法

ドクターブックアカデミーのサイトにて申込をお願いいたします。

<https://academy.doctorbook.jp/contents/2162>

TOPページ > セミナー・イベント > キーワード「リグロス」

視聴の予約

予約をしておく事で、配信前日までにお知らせがメールで届くので安心です。予約なしでも当日参加も可能です。

視聴の準備

ドクターブックでは無料動画を多数配信しています。事前に動画を視聴いただく事で、生放送を見るための準備ができます。動画の再生に問題がある場合は、必ずお早めにお問い合わせください。

講師への質問

ライブセミナー中は視聴用ページ下部のフォームより講師への質問が可能です。ぜひご活用ください。

お支払い方法

今回のセミナーは無料参加となりますので、決済・振込は不要です。



Doctorbook academy

セミナーに関するお問い合わせは下記までお願いいたします。

info@doctorbook.jp TEL 03-5280-9535 セミナー担当

リグロスのご購入・ご使用を希望される先生方へ

「リグロスe-learning」の受講はこちら



<http://regroth.jp>



歯周組織再生剤

薬価標準収載

リグロス[®] 歯科用液キット 600 μ g/1200 μ g

REGROTH Dental Kit 600 μ g/1200 μ g トラフェルミン (遺伝子組換え) 製剤
処方箋医薬品 (注) 一般医師等の処方箋により使用すること

【禁忌 (次の患者には投与しないこと)】

1. 本剤の成分に対し過敏症の既往歴のある患者
2. 口腔内に悪性腫瘍のある患者又はその既往歴のある患者
[本剤が細胞増殖促進作用を有するため]

【効能・効果】 歯周炎による歯槽骨の欠損

〈効能・効果に関連する使用上の注意〉

1. 本剤は、歯周ポケットの深さが4mm以上、骨欠損の深さが3mm以上の垂直性骨欠損がある場合に使用すること。
2. 本剤は、インプラント治療に関する有効性及び安全性は確立していない。

【用法・用量】 歯肉剥離掻爬手術時に歯槽骨欠損部を満たす量を塗布する。

〈用法・用量に関連する使用上の注意〉

本剤の使用にあたっては【臨床成績】の項を参照し適切な量を用いること。

【承認条件】 医薬品リスク管理計画を策定の上、適切に実施すること。

【使用上の注意】<抜粋>

1. 重要な基本的注意

- (1) 本剤は歯周外科手術の経験のある歯科医師又は医師が使用すること。
- (2) 術後に歯肉弁の著しい陥凹を生じると予想される骨欠損部位に対しては、他の適切な治療法を考慮すること。

2. 副作用

本剤が投与された安全性評価対象症例429例中3例(0.7%)に副作用が認められた。その内訳は、適用部位における歯肉白色化、歯肉紅斑、歯肉腫脹および頭痛が各1例(0.2%)であった。臨床検査値異常は429例中51例(11.9%)に認められ、その主なものは尿中アルブミン陽性27例(6.3%)、尿中 β_2 ミクログロブリン上昇17例(4.0%)、尿中NAG上昇16例(3.7%)、CRP上昇6例(1.4%)等であった。(承認時)

分類	頻度	1%以上	1%未満
適用部位			歯肉白色化、歯肉紅斑、歯肉腫脹
精神神経系			頭痛
臨床検査	尿中アルブミン陽性、尿中 β_2 ミクログロブリン上昇、尿中NAG上昇、CRP上昇		AST(GOT)上昇、ビリルビン上昇、CK(CPK)上昇、ALT(GPT)上昇、LDH上昇、尿糖陽性、リンパ球増多、好中球減少、単球増多、白血球減少、総蛋白上昇

●その他の使用上の注意等については添付文書をご参照ください。

2017年12月改訂(第4版)

製造販売元
(資料請求先)



科研製薬株式会社

東京都文京区本駒込2丁目28-8

医薬品情報サービス室